

妨害に屈せず 市民の生活を守るために頑張ります！

村木 むらき ひでゆき



発行：村木ひでゆき後援会 〒197-0801 あきる野市菅生1456

疑問にお答えします！

疑問 ① 市政運営の基本は何ですか？

あきる野市の厳しい財政状況を理由に市民からの切実な要望を実現できないのは痛恨の極みです。知恵と工夫を通じて財源を少しでも確保することを最優先させて来ました。市長専用車の廃止や市長退職金の辞退は、市民に負担をお願いする前に、自らが身を切る改革をする姿勢を示すためでした。今まで予算が確保できないとして実現されなかった小中学校体育館、児童館の体育室へのエアコン設置も東京都の補助金を活用することにより実現することが出来ました。前回の選挙で争点となった武蔵引田土地区画整理事業も計画と契約

方式の全面見直しを行うことにより、あきる野市の負担を2億2千万円削減することが出来ます。今度の市長選挙での争点とされる特別養護老人ホームの創設も残土処理を条件に、事業誘致し、東京都からの交付金収入を2億5千万円と市有地の賃貸借収入2億4千万円。合計4億9千万円の収入を確保するという施策です。市民の税金をなるべく使わないで懸案事項の解決をするのを今後も基本に据えたいと思っています。

疑問 ② 条例違反と批判されていますが？

この特別養護老人ホームの創設にあたり、あきる野市議会は議会基本条例の第14条（議決事件）の第2項第2号のその他の規定を根拠に、「御堂中学校西側市有地を介護老人福祉施設用地として売り払うことや貸し付けることには市議会の議決が必要である」との条例を可決しました。議会基本条例に個別物件名や用途、面積や価格を記載した条例を制定することは市長の行政執行権を侵害する危険性が極めて高いと言えます。専門機関にこのような条例が成り立つのかを問い合わせ中ですが、全国的に例のない極めてまれな条例です＝全国的にまれな市議会とも言えます。

▶場所が御堂中学校西側跡地ではなく、都立秋川高校跡地や他の場所なら議会の議決事項ではないなどという議案があるのでしょうか？また、予定価格や面積要件の一方が欠けていたらどう判断しますか？

議会が多数で決めれば何でも市長の行政執行権を制約できるなら、他の案件を含めてこの様な議決が次々に行われる危険性があります。自分たちが何を議決したかも理解できていないのではないのでしょうか？



Muraki Hideyuki Profile

村木ひでゆき 略歴
プロフィール

現 あきる野市長

特別養護老人ホームほたるの郷・第二ほたるの郷
デイサービスセンターこいかわの郷 前理事長

- 昭和32年 元秋多町（旧秋川市の前身）町長 村木光三の長男として菅生にて生まれる
- 多西小・秋多中卒業 ●日野高校、慶応義塾大学卒業
- 昭和62年～平成9年 秋川・あきる野市議会議員
- 平成12年 社会福祉法人菅生会 創設
- 平成17年～令和元年まで あきる野市議会議員
- 令和元年～あきる野市長 ●趣味・特技 将棋、柔道（三段）

<https://www.muraki-hideyuki.com/>



議会の妨害に屈せず 市民の要望実現の為に奮闘します！

【登場人物紹介】

準君／御堂中学校2年生。好奇心旺盛で、何でも自分が納得するまで調べる性格。祖父とは大の仲良し。
お爺ちゃん／若いころに市議会議員をしていたこともあり、あきる野市の市政や議会についての見識が深い。年齢のせいもあり、少し違う視点で物事を考える性格あり。



準君 さっき電話で話したけど、学校の西側にある砂利山が市長選（市議選）の争点だと友達から聞いたけど、議員をしていたお爺ちゃんに聞いたらとお母さんに言われたので、聞きにきましたが教えてくださいませんか？



お爺ちゃん 準君よく来たね！家族はみんな元気で過ごしているかな？



準君 学校でも家でもコロナの感染予防をしているから大丈夫だよ。お爺ちゃんは？



お爺ちゃん 心配してくれてありがとう、お爺さんもお蔭様で元気に過ごしているよ。早速先ほどの話の件だけど、この平成新山と言われている残土置き場が出来たのはもう40年以上も前のことだから正確には覚えてはいないけど大凡こういう仕組みだったんじゃ。

土地の値上がりが続いていたバブル経済期に、秋川市土地開発公社と言う組織が土地の先行取得や開発のために造成したりし、市にそれを売っていたのだが、市の財政の縮小やバブル経済の崩壊でこの仕組みが崩壊してしまい。土地開発公社は経営破たんしてしまったのじゃ。そこで市がこの公社の負債を含め20億円近くで買い取ったわけだが、その土地はその後でも使われることなく所謂「塩漬け」だったのを、次の世代にツケを渡さないようにと村木君が手を付けたのが発端なんじゃよ！

＜土地開発公社の仕組みと崩壊＞

POINT

▶ 公社が設立された昭和48年当時の土地価格は異常な高騰をしていました。まちづくりの事業を行うには用地を取得する必要がありますが、それには多額の予算が必要となるため、起債（借金）を活用することになります。起債は、事業実施が見込まれる場合でなければできないことから、土地の価格が安いうちに土地開発公社が先行取得し、事業の実施が可能となった時点で市が土地購入費と金利負担を上乗せして買い戻し、事業費の負担の抑制を図る仕組みです。

しかし、自治体の事業計画が順調に実行され、かつ地価が上昇しつづける状況下では有効に機能しましたが、バブル崩壊とそれに伴う自治体財政の逼迫と公共事業縮小の影響により、土地開発公社の役割が失われ、この仕組みが崩壊してしまいました。あきる野市土地開発公社も、先行取得した土地の金利負担等が重くのしかかり、経営が悪化、結局、市の要請により公社が取得したものであるため、最終的には市がその負債を肩代わりし、平成28年に解散しました。



準君 それがなぜ今頃問題になったの



お爺ちゃん これも簡単に言えば、この「塩漬け」になった市有地を村木君が残土の処理を条件に残土処理費（1億3千万円）、東京都の助成金（2億5千万円）、地代収入（2億4千万円）、合計4億9千万円を得られるの特別養護老人ホームの誘致を狙った訳じゃ！おまけに周辺の環境も良くなる効果もあって、財政が苦しいあきる野市にとっては、「残土の山が、宝の山に」に変えられるという一石三鳥の効果を狙ったのだろう。



準君 三多摩の中でも最下位を争う貧乏なあきる野市にとって良いアイデアではなかったの？



お爺ちゃん ま～それが大人の世界はなかなか複雑で。まず、市内で老人福祉施設を運営する施設の経営者が反対だったんだ。



準君 どうしてなの？



お爺ちゃん 簡単に言えば、新たに施設が創設されると今でも不足している介護人材の確保が難しくなるし、利用者の取り合いが激しくなるとの事だろうな！



準君 それも大変だね



お爺ちゃん でも、少し視点を変えてみれば、一時期そのようなことが起こっても日本の高齢化は今後も一層進むので、介護老人福祉の需要は高まっていくのは確実なのじゃ。将来を見据え、働いている人の処遇改善の努力や人材育成のための施策を進めた方が業界全体としての利益があるのかもしれないね！安心安全の社会に不可欠な業界が「ブラック業界」とされるのはマイナスだからね！



準君 議員の人たちは何で反対してるの？



お爺ちゃん これもちょっと複雑なんだが、まずは市内の介護老人福祉施設を運営している人たちの要望に沿ったことだろうが、強く反対している議員の心理には、三年前の市長選挙でまさか負けるとは思っていなかった現職が僅か88票差で落選した悔しさがあったんだろう！一年以内に失職させると息巻いていた人もいたくらいだから。



準君 大人の世界って複雑なんだね



お爺ちゃん そうなんじゃよ！今度の市議選は市長の議会軽視に対する不信任案可決が発端だけど、根底にある議員心理“村木市長の実績になる施策は認めない”も影響しているかもしれないね。この件以外でも市長と議会の関係は良好とは言えないからね！本人たちが気付いているかどうかは別にして、選挙はお互いの違いを強調するものだけど、選挙が終わってもそれを引きずるものだから困るね！



準君 どうしたらいいの



お爺ちゃん これと言って特効薬があるわけでも無いが、もう少し冷静になって、お互いが自分自身の行動や発言の素直に振り返ることから始めないといけね！自分の意見を声高に主張するより、まず相手の立場になって意見を聞いて見ることかな！



準君 お爺さんはどうだったの



お爺ちゃん それを言われると、穴があいたら入りたい気持ちだよ。お爺さんが議員の時にも話題になった課題なので、少しは責任も感じているからね！



準君 お爺さんは元気だから、穴に入らないで、まだまだ長生きして頑張ってね！



お爺ちゃん ありがとう！元気なうちは頑張るけど、介護が必要になったら、新しく創設される老人ホームにでもお世話になるか！アッハッハッハ！

準君の雑感

● 砂ぼこりが時々学校まで来る平成新山と言われる立ち入り禁止の砂利山にもそれなりの経緯や真相があったのは意外でした。宣伝カーでは市長が条例違反をしたとも言っていましたので、今度はそれについても聞いて見ようと思いました。

お爺さんの述懐

● 孫の前なので、つい張り切って余計なことまで言ってしまったかなと反省！残土問題以外にも土地開発公社が残した物件の処理や五日市と秋川との合併時に起債で建てた公共施設の老朽化対策など多くの課題を残してきた責任は私にも現職の市議にもあるような気がします。すべてが子どもや孫への加害者になるという気持ちで、真剣に子育て、高齢者対策などの課題に取り組んで欲しいとつくづく感じました。